

高等学校外国人生徒支援の拡充について

1 高等学校外国人生徒支援の現状

- 2022年度（令和4年度）から結城第一高校、石下紫峰高校において支援体制を構築

入試関係	外国人特例選抜の募集人員を40人に拡大、在日期間の制限なし
学習支援	日本語習得の支援、日本語の能力に応じた習熟度別学習を複数教科で実施
学校生活の支援	保護者対応、学校生活のための手続き等を支援（通訳・翻訳等）

2 拡充の理由

- 高等学校における外国籍生徒の増加

<高等学校外国籍生徒数>

	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)
外国籍生徒数	440人	505人	578人	639人	742人	871人
うち日本語指導が必要な外国籍生徒数	76人	91人	121人	158人	259人	331人

- 重点校（結城第一高校・石下紫峰高校）の外国人特例選抜の志願倍率が1倍超

<重点校における直近4か年の入試の状況>

学校名		2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)
結城第一	一般選抜	101/120 (0.84)	88/120 (0.73)	98/120 (0.82)	94/120 (0.78)
	うち外国人特例選抜	21/ 40 (0.53)	20/ 40 (0.50)	45/ 40 (1.13)	46/ 40 (1.15)
石下紫峰	一般選抜	169/160 (1.06)	188/160 (1.18)	167/160 (1.04)	174/160 (1.09)
	うち外国人特例選抜	23/ 40 (0.58)	41/ 40 (1.03)	40/ 40 (1.00)	52/ 40 (1.30)

高等学校外国人生徒支援の拡充について

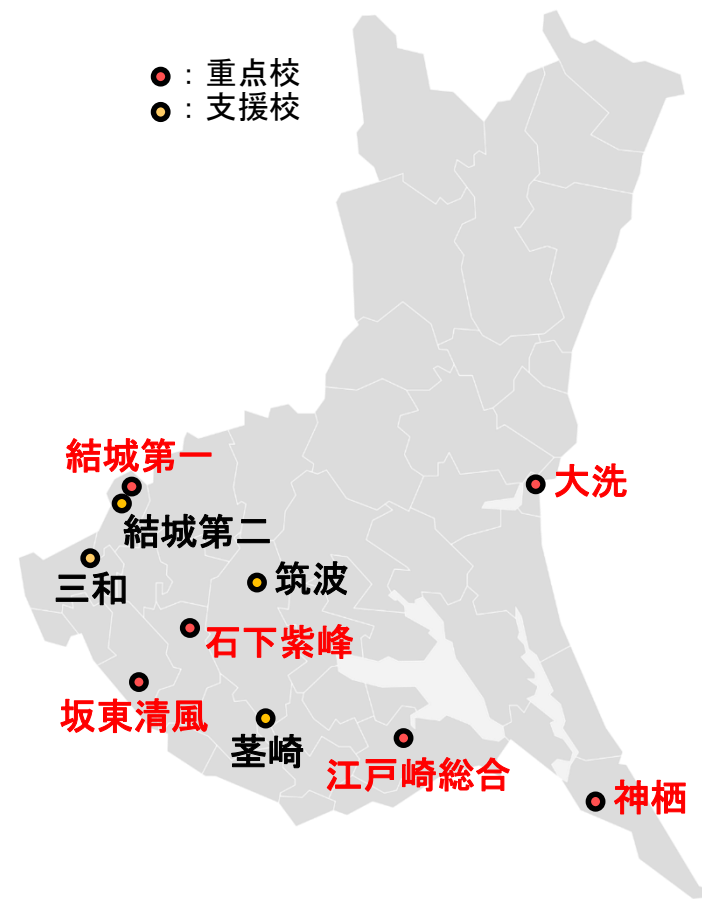
3 対象校

- 県央・県東・県南・県西地域において、日本語指導が必要な外国籍生徒の在籍数が多い高等学校へ外国人支援体制を拡充

	年度	学校名	外国籍生徒 在籍数（人）
重点校	令和4年度～	石下紫峰	128
		結城第一	131
	令和8年度～	大洗	5
		神栖	6
		江戸崎総合	9
		坂東清風	45
支援校	令和6年度～	筑波	20
		荃崎	18
		結城第二	21
	令和8年度～	三和	14

令和7年5月1日現在

令和8年度 10校体制（重点校6校、支援校4校）



高等学校外国人生徒支援の拡充について

4 支援内容

- 外国人生徒支援コーディネーターによる生活の支援や、日本指導支援員による日本語習得の支援などを予定

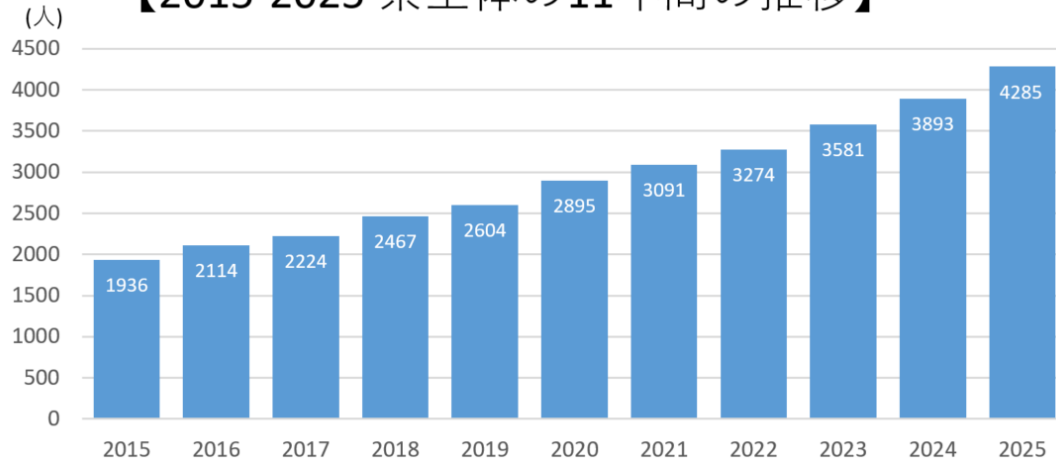
	年度	学校名	主な支援内容等（予定）
重点校	令和4年度～	石下紫峰	○外国人生徒支援コーディネーターの配置 生活・進路等支援、面談等対応、外部機関連携調整 ○日本語指導支援員の派遣 ○日本語の能力に応じた習熟度別学習等を複数教科で実施 ○日本語指導個別計画作成支援、キャリア支援の実施 ○外国人生徒特例選抜の拡充 ・募集人員の拡大（40人）・在日期间：「制限なし」
		結城第一	
	令和8年度～	大洗	
		神栖	
		江戸崎総合	
		坂東清風	
支援校	令和6年度～	筑波	○外国人生徒支援コーディネーターの巡回 ○日本語指導支援員の派遣
		荃崎	
		結城第二	
	令和8年度～	三和	

⇒ **日本語を母語としない生徒も個々の能力を発揮**できる教育体制を構築することで、
地域社会の担い手を育成

【参考】茨城県外国人児童生徒の現状

外国人児童生徒数（小中学生）

【2015-2025 県全体の11年間の推移】



- ・直近3年間は年間300人以上増加
- ・直近10年間で2倍超の増加
- ・2025年度における**外国人児童生徒4,285人のうち、日本語指導を必要とする小中学生は2,164人**
(2024年度比 +302人)
- ・2025年度言語数は27言語以上

【2025-2028 学年別小中高校生の人数】

	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
2025	252	269	224	188	179	188			
2026	258	252	269	224	188	179	188		
2027	295	258	252	269	224	188	179	188	
2028	311	295	258	252	269	224	188	179	188

【2025 市町村別日本語指導を必要とする小中学生の人数】

